

支援担当者会議の実施

実施場所 小学校**実施時期** 7月末**参加者**

母親
学級担任・特別支援教育コーディネーター
通級指導教室担当（他校教員）
放課後等デイサービスAの職員
放課後等デイサービスBの職員
相談支援専門員

目的

- ・ 本人の様子について共有し特性理解を図る。
- ・ それぞれの機関における支援の在り方について共有し、困った時に何でも相談し合えるような関係機関同士の横のつながりを構築する。

内容

- 小学校での様子について伝える。
 - ・ 本人の得意なことや苦手なこと
- 放課後等デイサービスでの活動の様子を聞く。
 - ・ 活動がスムーズに行くのはどんな場合か。
 - ・ 不適切な行動が出るのはどんな場合か。
- まとめ
本人の特性を踏まえた上での行動面や心理面の共通事項を見出し、対応の一元化を図る。

成果

相談支援専門員が核となり、本人や保護者の困り感を随時関係機関が共有することができた。
関係機関同士で気軽に連絡を取り合える雰囲気を作ることができた。